

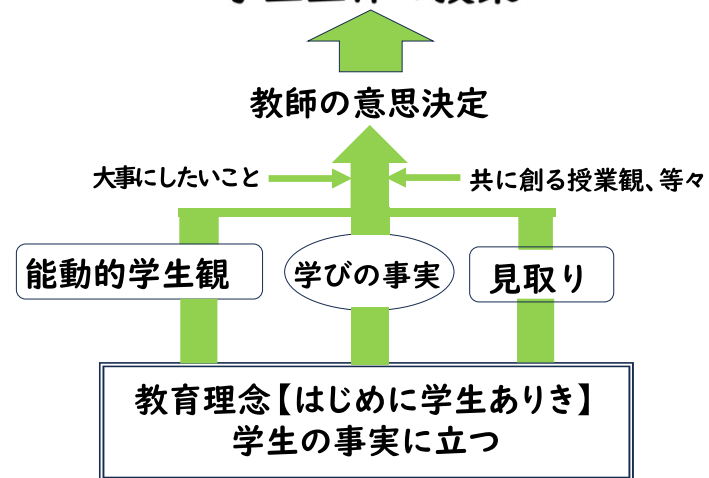
## 学生主体の授業とその授業研究

東京学芸大学  
平野朝久

はじめに

- I. 教育の拠り所
  1. 教育理念
  2. 学生理解
  3. 学生観
  4. 学びの事実
  5. 授業観
- II. 授業づくり
  1. 材(教材、学習材)
  2. 学習課題
  3. 授業展開
  4. 教師の支援、指導
- III. 授業研究

## 学生主体の授業



はじめに学生ありき

||

**学生的事実に立つ**  
(学生を大切にすること\*)



教師の支援、指導

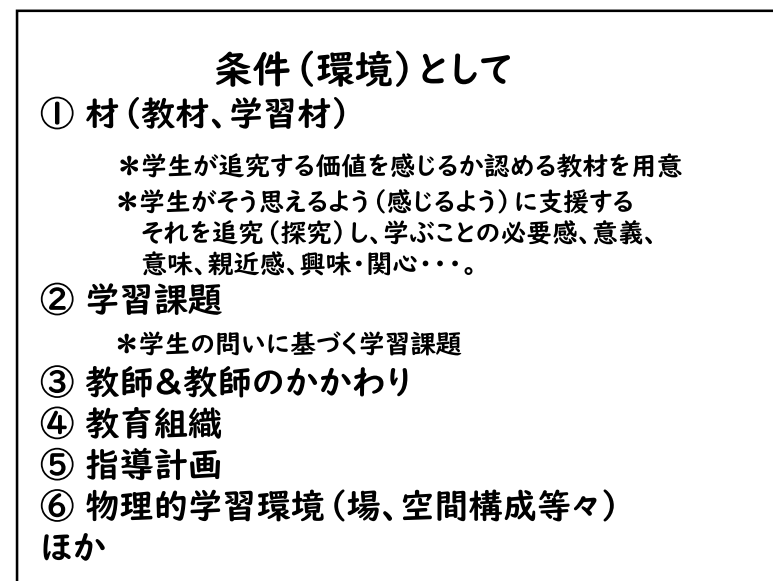
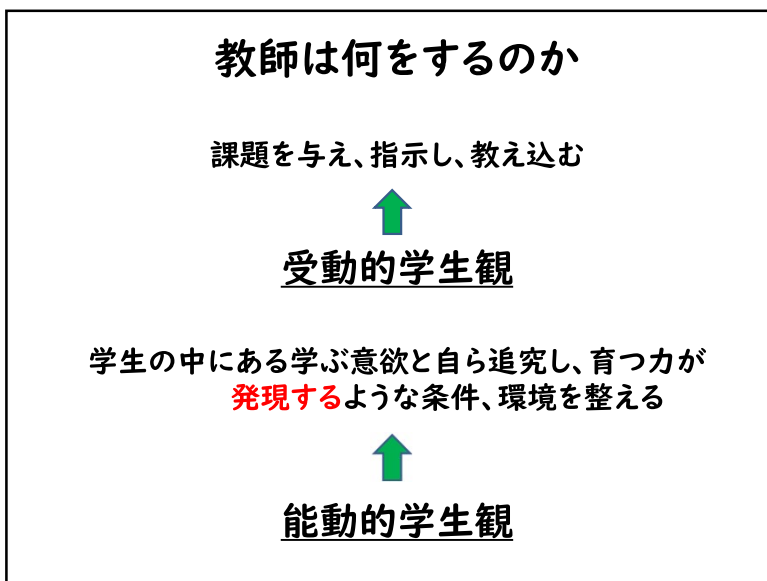
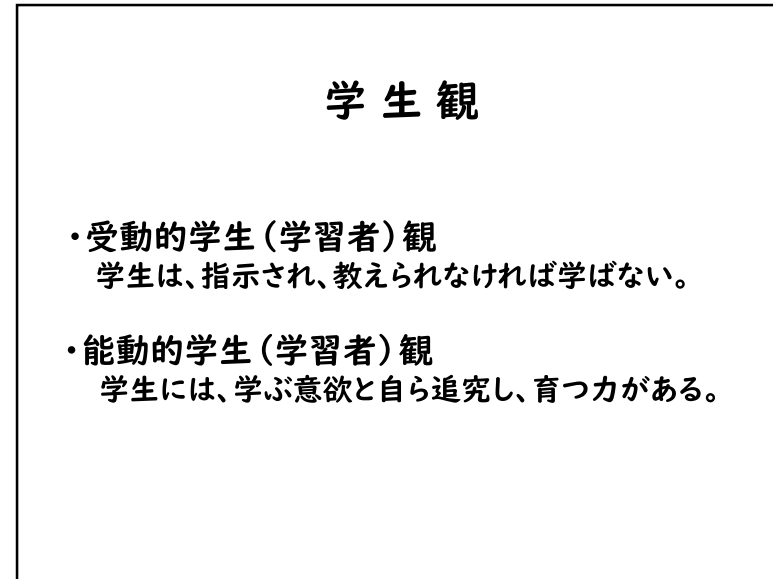
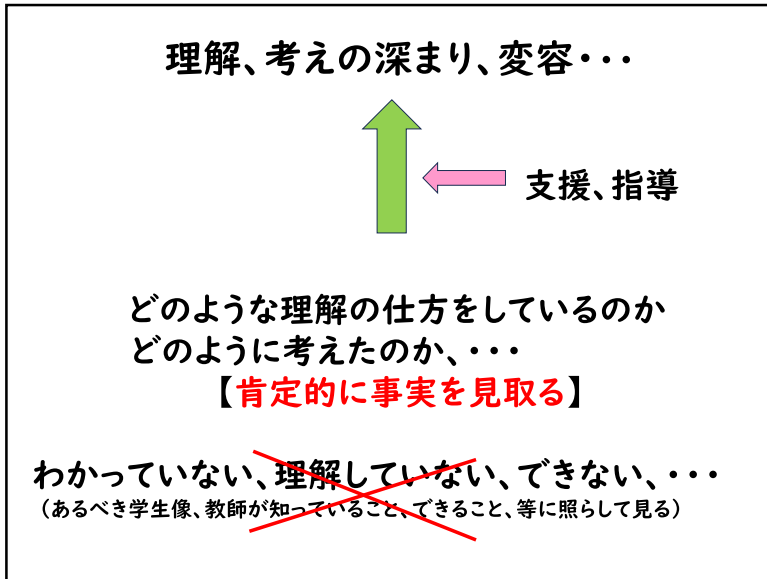
\*学生の考え、求め、思い、願い、問い……。

## 《見取り》

学生の心の内を、価値判断をせずありのまま、  
共感して、わかろう(感じることも含む)とすること

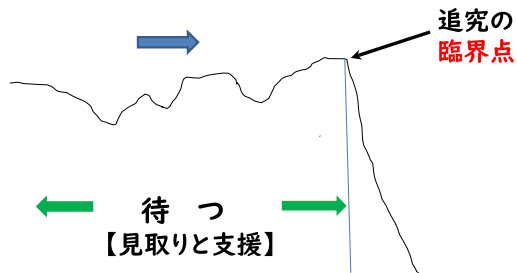
文献② p.26

\*見取り → 授業研究

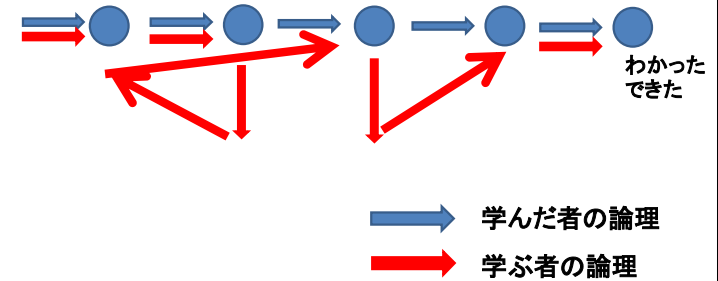


## 教師の基本的な構え(姿勢):待つ

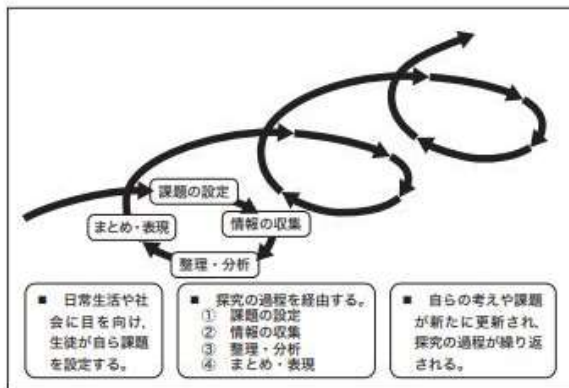
- ・いつまで待つ: 学生が自分で考え、判断し、行動するまで
- ・待っている間何をやる: 見取りと支援



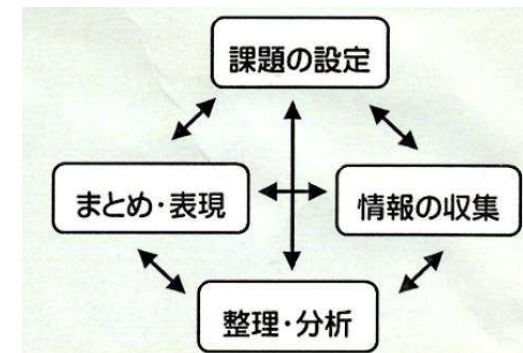
## 学びの事実(学びの道筋)



## 探究における生徒の学習の姿



文部科学省 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な学習の時間編  
平成30年7月



東京都世田谷区立世田谷小学校

## 授業観

### 教師主導の授業(教え、わからせる授業)

教師が知っていること、できることを学生に教え、わからせるのが授業



### 学生と共に創る授業

同じ対象を学生と共に追究し、学ぶのが授業

授業の過程: 教師と学生による創造の過程

## 教師の支援・指導

### (1) 学生の意欲や力の発現を妨げているものを 取り除く支援・指導

例: 既成の観念ややり方へのとらわれ、執着、思い込み、先入観・・・

### (2) 何のための支援、指導か

◎ 学生が学ぶための支援・指導  
~~指示、マニュアル、・・・~~

### (3) どのように支援するのか

◎ 学生が適切な自己決定ができるように支援

~~教師による学生の意思決定の代行~~  
・ 学生への言葉がけ: 「どうする?」、「どうしたい?」、・・・  
・ 自己決定に必要な十分な情報が収集できるようにする  
・ その他

## 授業研究

授業研究 { 授業という実践を対象化し、授業において生起する  
事象を検討することを通して教師の専門的力を  
高め、授業改善をはかるための研究

\*基本的に事例研究であり、研究によって明らかになったことの一般化を目指すものではない。

\*校内研究として行われる場合、教師は実践者であるとともに授業研究の主体者となる。

\*授業研究の参加者は、授業者、同僚(管理職も含めた校内の教師)、他校の管理職、教育委員会指導主事、大学の研究者など

\*学生主体の授業の授業研究では、学生を観察し、記録し、見取りによって学生の実態を明らかにして、その意味づけを行うことを中心として、それとの関係で教師の学生へのかかわりについて検討し、参加者による協議、研究者等による指導・助言が行われる。

\*研究者が授業研究の主体となる場合は、授業研究で何を明らかにしたいかによって研究方法は異なる。その研究方法については、文献⑥、⑦等を参照。

## 文献

- ① 平野朝久『はじめに子どもありき—教育実践の基本—』 東洋館(2016年)  
学芸図書(1994年)
- ② 平野朝久編著『「はじめに子どもありき」の理念と実践』 東洋館 2022年
- ③ 川田龍哉『よい授業とは何か』 学文社 2019年
- ④ 齊藤慎一『子どもの事実に向き合う』 東洋館 2022年
- ⑤ 稲垣忠彦・佐藤学『授業研究入門』 岩波書店 2002(1996)年
- ⑥ 秋田喜代美・藤江康彦編『はじめての質的研究法 教育・学習編』 東京図書  
2018(2007)年
- ⑦ 秋田喜代美・藤江康彦編著『これからの質的研究法』 東京図書 2022(2019)年